

2024. 10.1

都立戸山&お茶高理系女子育成連携プロジェクト「女性研修者にインタビューしてみよう」は、両校の生徒が組んで女性研究者にインタビューし、そこで得たものをまとめ、全校生徒に向けて発信するプロジェクトです。ここでは1年生3名、2年生2名、3年生3名が2024年7月3日、本校の卒業生であり、宇宙飛行士の山崎直子さんにインタビューした内容をご紹介します。

山崎直子(やまざきなおこ)さんは、日本で二人目の女性宇宙飛行士として、2010年に宇宙に行き、現在は内閣宇宙政策委員会部会委員、日本宇宙少年団理事長や出身の松戸市民会館名誉館長等を務めています。

1時間程度のインタビューの中から、いくつかの質問を取り上げてご紹介します！

○宇宙飛行士として

Q 閉鎖空間でのストレスへの対処法や柔軟な対応が求められたときの気持ちの整理方法について教えてください。また、宇宙の魅力や好きなところがあれば教えてください。

→宇宙船の中は狭いですが宇宙空間では無重力です。床、天井、壁まで使えるため思っていたよりは広く使えますが、衣食住が全て一ヶ所でプライバシーがありません。みなさんは、学校の自分、家の自分、1人の時の自分と使い分けしていると思いますが、宇宙船の中ではそうはいかず、短期滞在の人は自分の個室もないので気持ちの切り替えができません。だから、プライバシーがないことがストレスでした。対処法としては自分でくつろげる方法を見つけること。私の場合は休憩時間に窓から地球を見ることで昼夜問わずおこなっていました。クルーの仲間と食べる夜ご飯もまたリラックスになりました。人によってはルーティン化して朝コーヒーを飲んで気分を入れる、日記を書くなどそれぞれ工夫していました。

Q 宇宙飛行士を目指すにあたって、挫折したことがあれば教えてください。また、それをどのように乗り越えたか教えてください。

→宇宙飛行士の試験について、一度目は書類審査の段階で落ちてしまい、落ち込みましたが、宇宙は小さい頃から好きだったし、宇宙飛行士を目指して頑張ることは楽しかったので、「まあこんな簡単なはずない。次も頑張ろう」と切り替えて努力して二度目も挑戦することができました。どんな道でも歩いていくと必ず困難があります。宇宙飛行士試験にしても、日常のどんなことでも、必ずしもすんなりとはいかないけれど、やってみようかな、これでも楽しいなと思えることが大事です。それがあかないかで頑張れる度合いが変わると思います。また、宇宙飛行士になってからも力不足を感じることは多かったですが、同じように困難なことも楽しむことができたので、子供のころからの「宇宙が好き」という変わらない気持ちは困難なことに立ち向かうにあたって大きな支えとなりました。だから、宇宙飛行士に限らず、皆さんも子供の頃からの原体験や好きなものは極力大事にしてください。

○高校時代について

Q 苦手な教科はありましたか？また、興味のある分野にどのようにアプローチしていましたか？

→社会や古文など、暗記が多い科目に苦手意識を持っていましたが、繰り返し見て覚えたり、教科書を参考に自分の中でストーリーを作ったりすることで、克服していました。好きな科目はとことん好きなタイプで、特に数学や物理が得意で、『大学への数学』を学校の勉強と併せて解いていました。

Q 高校生の時に経験したことで、今の生活で役に立っていることなどはありますか？

→お茶高はバラエティに富んだ友人が多く、特に帰国生の存在により、海外留学をしたいという気持ちが強まるなど、とてもよい刺激を受けていました。課外活動では、「ジャズダンス同好会」を立ち上げ、文化祭などで発表していました。単調な練習に飽きそうになることもありましたが、泥臭いことでもみんなで一緒にやること、一生懸命に取り組むことの楽しさが実感でき、大人になった今も、宇宙飛行士の訓練の際にも役立ちました。そんな経験ができた高校時代はとてもかけがえのないものだったと思います。

○高校生に向けてのメッセージ

→皆さんは様々な活動をされていてとても素晴らしいので、まずは自信を持ってください。また、高校時代に経験したことや、感じたことはとてもかけがえのないものです。どうか、一つ一つの経験を大事にしてください。特に、自分が好きだと思ったことや、関心があることを大切にしてください。世界はとても広いので、自分が思っていることがすべてではありません。正解のない問いもあります。正解のない問題にぶつかったときは、どちらが正解だろうと迷うのではなく、自分が歩く道が正解になるように、自らの道を開拓していってください。応援しています。

☆インタビューを受けての感想

- ・「日本で女性2人目の宇宙飛行士」として世界的に活躍している山崎さんはとても遠くに感じる存在でしたが、高校時代について聞いた時には、今の私たちと同じように、テスト勉強を頑張ったり、同好会など授業外の活動に全力で取り組んだり、お茶高ライフを満喫していたと知って、とても親近感が沸きました。
- ・山崎さんのお話からは宇宙が大好きなことがよく伝わってきたので、私たちも、どんな困難にも立ち向かう理由になるような趣味や大好きなことを見つけたいなと思いました。
- ・山崎さんが楽しそうに宇宙のお話をなさっているというのがとても印象的でした。私たちのとるに足らない質問にも丁寧に真剣に答えてくださり、宇宙飛行士である山崎さんにインタビューできる！という意気込みはあるものの、緊張で固まっていた私たちもすぐに対話を楽しむことができました。
- ・今後私たちも進路について迷ったりすることも多いと思いますが、山崎さんの宇宙に対する真剣かつ楽しそうな面持ちを思い出して、興味のあることに、好きなことに対してまっすぐ進んでいこうと思います。

お忙しい中、貴重なお話を聞かせてくださりありがとうございました！

